



# みかん × 移住 × 座談会

6月17日（金）に「ゲストハウスもらいもん」で、みかん農家になるために有田川町へ移住した3組のご夫婦が交流とインタビューを兼ねた座談会を行いました。

初対面の方もいましたが、農家として独立時期も近いだけでなく「県外からの移住」「師匠の元で栽培技術を学んだ」などの共通点が多く意気投合。有田川町で就農に至った経緯やきっかけ、今後の目標などを話してくれました。

植野

**中野 大輝さん (32)**  
**祐依さん (29)**

オーストラリアやカナダの旅で出会ったお二人。海外での農業経験を経て、有田でみかん仕事を体験。師匠の人柄に魅かれ、この地でみかん農家としての独立を決意。現在は約5反（50 a）のみかん畑を耕作している。

祐依さんはハンドメイドアクセサリーの販売やワークショップを開催している。



大藪

**真辺 大地さん (37)**  
**未来さん (36)**

令和4年（2022年）4月にご家族で有田川町へ移住。コロナ禍で、未来さんの仕事がなくなったのをきっかけに農業に関心を持つ。

奈良県から有田川町まで1年半通い、師匠の元でみかん作りを教わりながら家を探していた。

前職は2人ともサラリーマン。畑も家も買って、みかん農家になるため気合も覚悟も十分！



修理川

**合庭 嘉紘さん (36)**  
**愛裕美さん (35)**

有田川町地域おこし協力隊として、令和2年（2020年）5月から活動を続けてもうすぐ2年半。みかん農家として独立を目指しながら、自身が有田川町での生活を楽しむことで、外にPRしたり中でも盛り上げていきたい、と話す嘉紘さん。

最近の愛裕美さんは、自身で車の運転を始めて行動範囲が広がったと話す。和歌山での生活を満喫中。

